別紙様式6

令和5年度　　学 校 評 価 表　　（ 中間評価 ・(最終評価) ）　　東広島市立西条小学校

| 学校教育目標 | 人間性豊かで 創造性に富み たくましく生きる子どもを育成する | 経営理念 | 『 継承と創造 』<br>【めざす学校像】『独創教育』の理念を基に，工夫・追求・徹底・協働によって新たな価値を創造する学校<br>【めざす児童像】何事も自ら進んで「正しく 強く 優しく 永く」やろうとする子ども<br>【めざす教師像】笑顔で寄り添い，子どもの心に共感する教職員 |
|---|---|---|---|

| 評価計画 | | | | | | | 自己評価 | | | | | | 学校関係者評価（学校運営協議会による評価） | | 改善方策 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 重点 | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 目標達成のための方策 | 評価項目 | 目標値 | 達成値 10月 | 達成値 2月 | 達成度 | 評価 | 結果と課題の分析 | 評価 | コメント | 改善方策 |
| 主体的に学ぶ | 1 | やる気に満ち，自ら進んで学ぶことで，学ぶ楽しさを味わい，資質・能力を高めていく児童の姿 | 児童の資質・能力を共有し、児童が自ら学び、他者と協働して、見方・考え方を深める授業づくりを推進する。 | ・自ら学ぶプロセスと協働的な学びの方策を核とした授業研究を通して、日々の授業改善を推進する。<br>・「やりがい 自信 仲間のサポート」を実感できる働き方改革を推進し，教育の質を高める。 | ・課題解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいる。 | 児童評価 90% | ― | 91% | 101% | 4 | 児童は，日々の学習において，学習課題を意識し，その課題の解決のために主体的に取り組むことができている。 | A | ・対話に注目していることはすばらしい。 | ・授業や家庭学習等，個別最適な学びを取り入れ，主体的に取り組むようさらに工夫していく。 |
| | | | | | ・CRTの達成度（活用） | 低75%<br>中70%<br>高70% | ― | 12項目/16項目 | 75% | 2 | 共創力を働かせる指導の工夫や対話場面の設定により，日常の授業が改善されたが，どの教科も記述式の問題に課題がある。 | A | ・主体性と学力向上への先生方の工夫とご努力に期待しています。 | ・活用力を付けていくことができるよう自分の考えをもつ時間を確保したり，対話場面を設定したりし，授業改善を行っていく。 |
| | | | | | ・正答率40%未満児童の解消 | 40%未満の割合を3%未満にする | ― | 2.9% | 103% | 4 | 個別指導，基礎基本の習熟の成果だと考える。しかし，正答率40%未満児童の数は，昨年度より増加している。今後更なる対策が必要である。 | A | ・先生方の専門性を生かして各学年で教科研修を深めたり若い先生を先輩の先生が指導される体制づくりができている。よい伝統ができている。 | ・40%未満の児童が減少するよう，個別指導や基礎基本の習熟を図っていく。 |
| | | | 本が好きになり，進んで読書を行う意欲や態度を育てる | ・読書活動を積極的に評価したり、お勧めの本を紹介し合ったりする活動を行う。<br>・委員会活動を活性化させ，目標設定やイベントを工夫して実行する | ・友達に薦めたい本がある | 児童評価 95% | 95% | 95% | 100% | 3 | 各学級における児童相互でのおすすめの本の紹介や，他学年からのテレビ放送による読み聞かせ，担任交代の読み聞かせを行うことで，読書の興味の幅が広がったと考えられる。 | A | ・家庭と結び付けた読書への取組がすばらしい。 | ・本を紹介する取組を様々な方法で継続していく。家庭への啓発も工夫して行う。 |
| | | | | | ・本を読むのが好き | 児童評価 85% | 85% | 85% | 100% | 3 | 図書委員会が様々なイベントを開き，児童の読書意欲を喚起した。これらの取組により，読書に親しむ児童が増えた。 | A | | ・委員会を中心に，様々なイベントを企画し，読書に親しむ児童を増やしていく。 |
| ふるさとを愛する | 2 | 西条小・西条町に誇りと愛着をもつ児童の姿 | 生活科・総合的な学習の時間の系統的な学びを推進する | 学校や地域の人・伝統・文化の素晴らしさを実感させる体験活動等の工夫・充実を図る。 | ・学校大好き | 肯定的回答率 95% | 95% | 96% | 101% | 4 | 生活科・総合的な学習の時間では，6年間を通じて西条の町や伝統産業である酒造りを軸として系統的な学びを展開した。各学年において西条小学校や西条の町の人や社会，自然等と，自分とのつながりに気付いたり，積極的に働きかけたりする学習を行ってきた。今年度も地域の現状や児童の思いや願いに合わせて新しい単元開発を行うことができた。また，学習過程において，課題設定の工夫，対話場面の設定，ICTの効果的な活用等，教師がファシリテーターとして児童の学びを促すことで，ふるさと西条について多面的・多角的に自ら深く学ぶ児童の姿を目指した。それらが，学校や地域への愛着を高めることにつながった。 | A | ・保護者の参加，家庭での振り返りも大切である。<br>・自分の考えを表現することは社会人になって必要な力である。 | ・学習の振り返りを充実することで，前学年とのつながりを意識させ，6年間の系統を児童自身も感じながら学習に取り組むことができるようにする。 |
| | | | | | ・西条への愛着 | 肯定的回答率 95% | 95% | 97% | 102% | 4 | | A | ・ふるさとに愛着をもち，地元に根付く社会人になってほしい。 | ・実施時期や形態，方法などを工夫し，児童が地域の人・伝統・文化と深く関わる体験活動をさらに充実させていく。 |
| 教育課程を社会に開く | 3 | 学校の教育目標や経営理念，目指す子供像を教職員・児童・家庭・地域で共有し，協働して教育を推進する姿 | 校訓に込められた価値を学校・家庭・地域で共有し、目指す子供の姿の具現化を図る。 | ・児童に仲間と共に学び，生活することのすばらしさを実感させる。<br>・児童が自らの成長を実感できる振り返りを定期的に行う。<br>・学校教育活動の様子をHP等で定期的に発信する。 | ・「校訓の価値」を共有 | 児童評価 95%<br>児童・教職員・保護者による各評価の差10%以内 | ― | 98% | 103% | 4 | 年度初めには，全教職員で校訓に照らし合わせて，目指す児童の姿を共有した。その後，各学級において，校訓に照らし合わせた自分たちの目指す姿を考え共有した。各学期の終わりに，自分の姿を振り返り次の目標をもたせたり，学級懇談会やHP等で保護者に知らせたりした。それが，「校訓の価値」を共有する達成度を向上させたと考える。 | A | ・保護者が学校の取組に関心を持ってもらうような努力が必要である。 | ・参観日や個人懇談会，通信やホームページを活用して，児童の様子を発信していく。 |
| | | | | | | | ― | 教職員2%<br>保護者7% | 100% | 4 | | A | ・働き方改革も進む中でも先生方の人材育成ができているように思う。応援しています。 | ・目指す児童の姿を児童，教職員，保護者と共有する機会を設ける。 |
| | | | | | ・自らの成長を実感できている児童 | 児童評価 90% | ― | 98% | 108% | 4 | 運動会や学習発表会，オペラ「白壁の街」等の練習を始める際には，目標や目指す姿を考えさせた。練習の途中で，自分の姿を振り返らせることで，自分の課題を見つけ，さらに高めようとする姿が見られた。行事終了時に，振り返りを行うことで，達成感を感じ，自らの成長を実感することができた児童が多かった。 | A | ・教育課程を社会に開くというテーマ（目標）にされたことに共感、感動した。社会の影響が学校教育に少なからずあると思う。社会に開く努力はとても重要である。 | ・学校行事やPTA講演会，通信やホームページ等を活用して，学校経営目標を保護者と共有する機会を設けることで，学校と家庭が連携して児童の育成に向かうことができるようにする。 |

4…目標を上回って達成　3…目標どおりに達成
2…目標をやや下回って達成　1…目標をかなり下回って達成

A…とても適切である　B…おおむね適切である
C…あまり適切でない　D…全く適切でない　（N…判定できない）